

## 令和4年度 第1回成田市公民館運営審議会 会議概要

### 1. 開催日時

令和4年7月29日（金） 午前10時から午前11時40分まで

### 2. 開催場所

成田市赤坂1丁目1番地3  
成田市中心公民館 2階視聴覚室

### 3. 出席者

(委員)

木川義夫会長、麻生辰浩委員、磯前勉委員、高木麻由子委員、居附悦子委員  
天野義夫委員、富澤優江委員、長澤成次委員

(事務局)

関川教育長、堀越教育部長、小川教育部担当次長、大隅公民館長、  
寺里管理係長、高橋事業係長、田口主査、佐久間主査、目崎主査

### 4. 傍聴者 1人

### 5. 議事

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 令和3年度公民館主催事業の報告及び令和4年度公民館主催事業の進捗状況について
- (3) 令和3年度公民館主要工事等の報告及び令和4年度公民館主要工事等の進捗状況について

### 6. 報告事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症に係る公民館の対応について
- (2) 公民館の課題について

### 7. その他

### 【議事（1）について】

要旨：成田市公民館運営審議会委員の委嘱替えに伴い、成田市公民館の設置及び管理に関する条例第20条第2項に基づき、委員の互選により、会長に木川義夫委員、副会長に佐々木有希委員が選任された。  
(佐々木委員は当日欠席のため、後日、木川会長から連絡し了承を得た。)

### 【議事（2）について】

要旨：令和3年度公民館主催事業の報告及び令和4年度公民館主催事業の進捗状況について事務局から説明を行った。その後、次のとおり質疑応答を行い、承認を得た。

(高木委員)

主催事業の応募者が募集定員を上回り抽選になっているケースが多いという印象を受けた。興味を持っている人が参加できるよう、講座の回数を増やすか、定員を増やすなど、何か対応できると良い。

(事務局)

公民館では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、諸室定員の人数制限をしていたため、募集定員を通常より減らしていた。現在は、制限を緩和したため、講師と相談し、対応可能な範囲で増員している。

(富澤委員)

「なりた冒険塾」や「親子体験学習セミナー」のように、学区を超えて同じ興味のある子ども達が集まることができる事業は良いと思う。シニア向けの講座についても、新型コロナウイルス感染症の影響で行くところが限られ、友達と会う機会が少なくなっている高齢者の方々に、外出や学びのきっかけになる場所を提供できることが大事だと感じた。

(事務局)

「なりた冒険塾」は、市内の小中学校から参加者が集まり、小中学校の段階から横のつながりを作るという公民館の事業の役割を果たすことができた。シニア向けの講座についても「シニア向けスマートフォン教室」を実施しているが、定員20人のところ120人の応募があった。スマートフォンは横のつながりを助けるツールになるので、興味を持たれている方が多いようだ。

(長澤委員)

本日配布された「公民館だより」を見ると、公民館主催講座は、「青少年教育事業」、「家庭教育支援事業」、「シニア世代支援事業」、「地域コミュニティ支援事業」、「郷土学習支援事業」、「趣味・教養講座」の6つのカテゴリーに区分し、実施されているということがよくわかった。資料の令和3年度の主催事業一覧表は時系列になっているが、カテゴリー別に作成すると、それぞれの充実度がわかりやすくなると思う。

また、学びを深めるとい観点からは回数が重要であって、回数が多くなると仲間づくりが深まりサークルができる。講座終了後に自主サークルができた事例があったら教えてほしい。

(事務局)

今後はカテゴリー別の表も作成していきたい。

講座終了後にサークルができた事例としては、令和3年度はなかったが、令和4年度になってから英会話のサークルが1件ある。また、令和3年度に実施した「はじめての大正琴教室」の受講者が、継続して学びたいということで、既存の大正琴サークルに加入したという事例があった。

(長澤委員)

「なりた環境セミナー」や「予防医療セミナー」は、6つのカテゴリーに入らない現代的課題の学習になると思うが、SDGsなどの持続可能な社会を作るための学習についても積極的に実施してよいと思う。

(事務局)

現代的課題についての学習は、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

### 【議事(3)について】

要旨:令和3年度公民館主要工事等の報告及び令和4年度公民館主要工事等の進捗状況について事務局から説明を行った。その後、次のとおり質疑応答を行い、承認を得た。

(高木委員)

中郷公民館を利用した際に、トイレと水道が使えずとても不便だった。事前に対応することはできなかったのか。

(事務局)

事前に対応できれば良いのだが、いつ壊れるのか予測することは難しい。各館

の施設の状況を確認し、計画的に改修ができるようにしていきたいと考えている。

【報告事項（１）について】

要旨：新型コロナウイルス感染症に係る公民館の対応について事務局から説明を行った。その後、次のとおり質疑応答を行った。

（天野委員）

中央公民館の入口に設置されている非接触型体温計について、予算の関係上もあり難しいかとも思うが、公民館全館に設置されていると良いと思う。

（事務局）

非接触型の体温計については、安心して施設を利用していただくために全ての公共施設に設置されることが望ましいが、市役所全体で利用者が多い施設を中心に設置した経緯がある。

【報告事項（２）について】

要旨：公民館の課題について、市民ニーズが多様化する中において公民館の施設としてのあり方の検討や老朽化が進んでいる施設の整備等の検討が必要であることを事務局から説明を行った。その後、質疑応答を行った。

（天野委員）

公民館サークルの登録更新手続きについて、書類作りを簡略化してほしい。

（事務局）

担当者と確認し、簡略化できる書類があるか検討させてほしい。

（高木委員）

公民館での物販について相談した際に認められなかった。公民館使用許可基準に基づいて判断しているとのことであったが、誰にでもわかりやすいようにしてほしい。

（事務局）

現在、物販について許可していない。また、印旛管内の他の市町にも確認したが、公民館で物販を許可しているところはなかった。

公民館使用許可基準は、昨年 11 月に、より多くの市民に公民館を利用してもらえるよう、それまで運用していた許可要件を見直した際に定めたものであるが、

今後も、より市民が利用しやすい公民館となるよう、随時検討を行っていく中で、許可基準もわかりやすくなるよう見直しを行っていきたい。

**【その他】**

- ①「公民館の家庭教育支援事業の活性化について」の答申を踏まえた公民館の取り組み状況について説明した。
- ②令和4年度印旛郡市社会教育振興大会の出席者及び社会教育委員・図書館協議会・公民館運営審議会合同研修会の予定について説明した。